

巨大な波

今、何処に向かっているのでしょうか？そのように考える人も多いと思います。このみ言に出会ったときは感動がありました。まさしく希望でした。原理を学べば神様を知ることができ、人種を越える力、過去の怨讐を越えて一つになる力、全世界が兄弟になることができるという確信が生まれたのです。そしてこのみ言を分かち合いたいと思ひ伝道にも火がつけました。自分の人生をかけてこの世を変えてみたいという心情が溢れていました。まさしく食べるものがなくても恐れるものではありませんでした。創立60年が経ち、外的には大きくなりました。統一教会によって大きな変化がもたらされたことは否定できません。しかし私たちの現状はもっと勇氣を持って前に進まなければならないのですが止まっているような感じがします。個人の救いではなく家庭の救いが統一教会です。祝福を通して原罪を清算しますが、実際のところ私たちの生活がいつて行っていないようです。家庭を持っていると夫(妻)が怨讐にそして葛藤が生じる現実問題があります。性格が正反対の方が多いのです。子供が生まれると、み旨と子育てを両立しなければなりません。そして自分の家庭がついていけないと虚しさを感じてしまうのです。若い時は神様だけがわかってくれればいいと思いますが、年齢を重ねるごとに他人に認めてもらう事を願うようになって行くのです。

お母様のみ言に①草創期の精神②2世のリーダーの育成③環境創造④神氏族メンヤという観点があります。純粋な精神に変えていかなければなりません。もう一度お母様の精神に立ち返る事が重要です。そして人類の願ひは一つになることです。大きな波を起こして同じ方向に行かなければなりません。神様と共に行かなければなりません。そのような私たちになって行かなければなりません。波に乗って神様の願ひに応えていきたいと思ひます。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と眞の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 50周年特別路程 (9月2日～12月17日までの歩み)

来年は日韓国交正常化から50周年を迎える年であり、内的には、TFが日本を訪問されて50周年を記念する年でもあります。TFは1965年から世界40カ国を巡回され、120カ所の聖地を決定されました。その最初が東京の代々木公園であり、最後の120番目の聖地に青坡洞前本部教会を定めました。母の国・日本を始めとして、父の国・韓国で最後を結んだように、日本から始まって全世界の平和が韓国に結ばれ、南北統一の道まで結ばれるように条件を立てていきましょう。40日路程は11/8～12/17の期間です。

2. 朝鮮通信使と日韓トンネル

期日: 12月7日(日) 14:00開場、14:30開会
場所: 市民会館おおみや
主催: 日韓友好促進のための実行委員会
共催: 日韓トンネル推進埼玉県民会議

3. 宋総会長教区巡回

日程 2014年12月8日(月)
越谷→浦和南→久喜→鷲宮と巡回されます。

4. 礼拝堂改装工事のご案内

日程 2014年12月9日(火)～
説教壇、壁紙、天井の改装工事が始まります。
しばらくご迷惑をおかけいたしますがご協力願ひます。

5. 第11回 嫁さん弁当

日程 2014年12月10日(水)

6. 第7回天一国フェスティバル実行委員会準備会議

日程 2014年12月15日(月)
場所: 浦和教会

7. 「清平役事20周年記念特別大役事」日程変更

基元節20周年記念行事(2015.3.3)に合わせて大役事の日程も以下のごとく変更になりました。
変更前:【2015年1月16日(金)～1月18日(日)】
変更後:【2015年3月1日(日)～3月3日(火)】



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、眞の愛を実践する
天一国の眞の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

神氏族メンヤ勝利の為の還元祈願礼式



説教者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：町田滋子

一. 開会挨拶

一. 聖 歌

4 番

一. 敬 拝

一. 家庭盟誓

一. 代表祈祷

柄本純子婦人部長

一. 聖 歌

パープルクレイン

一. み言訓読

一. 講 話

李 炯燮教区長

一. 告天感謝文

三浦絹子

一. 祈願書奉納

一. 主礼祝祷

李 炯燮教区長

一. 所願成就祈祷

全 体

一. 閉会挨拶

今週のみ言

天国は一人では行けません。天国は必ず相対理想を決定してこそ、天国の門を通じて入っていくようになっているので、墮落人間が天国に入っていくためには、復帰の歴史、復活の歴史、再創造の歴史を経なければなりません。皆さんに祝福してあげることは、天国の門を大きく開いておくことです。皆さんの前に天国の門が閉まっていたので、祝福によって開いてあげるので。門を開いて入っていくには、一人では入っていくことができません。家庭が入っていきます。息子、娘と入っていくかなければならないという話です。家庭は、歴史的であり、そのすべての実績を備えています。神様の6千年の復帰歴史が一次アダム、二次アダム、三次アダム時代を経たので、3人の息子を経て、その3人の息子まで相対理念を立てておかなければなりません。ですから、家庭的に入っていくのです。

～ 天聖経 第7章 地上生活と霊界より～

なお、わたしが見ていると、見よ、小羊がシオンの山に立っていた。また、十四万四千の人々が小羊と共におり、その額に小羊の名とその父の名とが書かれていた。またわたしは、大水のとどろきのような、激しい雷鳴のような声が、天から出るのを聞いた。わたしの聞いたその声は、琴をひく人が立琴をひく音のようでもあった。彼らは、御座(みざ)の前、四つの生き物と長老たちとの前で、新しい歌を歌った。この歌は、地からあがなわれた十四万四千人のほかは、だれも学ぶことができなかった。彼らは、女にふれたことのない者である。彼らは、純潔な者である。そして、小羊の行く所へは、どこへでもついて行く。彼らは、神と小羊とにささげられる初穂として、人間の中からあがなわれた者である。彼らの口には偽りがなく、彼らは傷のない者であった。

～ 聖書 ヨハネの黙示録より～

統一運動

12月1日訓読会

天一国2年天暦10月10日(陽12.1)午前9時、真の父母様をお迎えして12月1日、天正宮で訓読会が開かれた。訓読会には摂理機関長および役職員、教区長など約500人が参加した。

真のお母様はみ言を介して、「皆さんは祝福された人々です。そして、幸せな人々です。お金で言う富者ではなく、心情の真の愛の富者です。墮落した人間が追求し、手に入れることを願った物をすべて皆さんは備えています。この短い肉身の世界で、たとえ痛みがあっても御旨に対して、私的な人生ではなく公的な人生を生きなければなりません。」「今決断しなければなりません。天の父母様、真の父母様の子女として世界の前に堂々とありなさい。天は私たちのためにすべての文明を誕生させて下さいました。今これを適切に使用して、真の父母様を世界の前に誇るべきです」と強調された。

また、真のお母様は「真の父母様のみ言通り行い、生きなさい。そうすれば最後に行かねばならない所で解放を得るでしょう。そこは永遠に幸せな場所です。そういう世界での生活のために、私たちはみ言を実践躬行しなければなりません」とおっしゃった。



2014年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2014年 活動指針

1. 伝道の飛躍的發展
2. 真の家庭運動の推進
3. 二世圏伝道・教育強化
4. 新民族的メンヤ活動推進